

<麻酔科>

一般（教育）目標

我々の臨床活動は、主に手術部における麻酔業務およびペインクリニック診療となる。手術麻酔に従事することで、呼吸・循環管理をはじめとした生命維持に対する知識と論理的思考力を養う。また、ペインクリニックでは、急性および慢性の疼痛とりわけ難治性の疼痛への対応を習得することを目標とする

（具体的）行動目標

(1) 基本姿勢

- ・病態の把握、術式の理解をした上で、最適な周術期管理を目指すよう心がける

(2) 診療法・手技

- ・周術期全般に配慮した麻酔計画の策定、および生命維持に関わる確実な手技の習得

(3) 症状・病態への対応

- ・術前は、複数の合併症を総合的に評価し、さらに術式の理解を深めて最適な麻酔方法を計画する
- ・術中は、バイタルサインや必要に応じてモニターを追加し、得られたデータ変動の示唆する本質的な病態変化を理解し、最適な患者管理を目指す
- ・術後は、回診により、疼痛をはじめとした問題点を探り、施行した麻酔方法が適切であったかを検討する

学習方略(1)

- (1) 上級医の指導のもと、担当する症例の術前患者情報収集および回診をおこない、具体的な麻酔計画を立てる
- (2) 上級医の指導のもと、手術麻酔を施行する。また、術前カンファレンスにおいて簡潔に症例提示と麻酔計画法について提示する
- (3) 術後経過を上級医に報告し、問題の精査および検討を行う

EV 評価

PG-EPOC による評価方法（研修医⇔指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC 評価システムに入力を行うこと